

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 蒲刈港 港湾海岸保全施設整備事業に伴う業務委託（大浦地区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	呉市蒲刈町 大浦地内	北緯	34° 10' 57.6662"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和元年 9月 9日 ~ 令和元年 9月 11日	東経	132° 45' 15.8255"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ	ア	鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T. P. 0.00m	角	180° 上下 0° 90°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	9.00m	地盤勾配	鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 YS0-1H エンジン NFD-12
				ポンプ	SP-40B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取番号	室原位置試験	削孔月日					
												深度-N値図		N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量	深試験	採取方法	
1			玉石混じり砂質礫	玉石混じり砂質礫		褐	rd4			礫は径10~40mmの角型が主体。砂は中~粗砂が混入する。 Gl=1.60m付近でL=10~15cmの玉石が混入する。 下部に従い礫径は大きくなる。		40	1.15	8	20	12	40	300	1.15	P1-1	○	密度、含水比、粒度		
2			砂質粘土	砂質粘土		淡黄褐	rc4			粘性は弱い。砂は細砂が混入する。含水は中ぐらい。		19	2.15	8	6	5	19	300	2.15	P1-2	○	密度、含水比、粒度		
3	-3.90	2.80										9	3.15	2	3	4	9	300	3.15	P1-3	○	密度、含水比、粒度、液率性		
4	-3.70	3.70				黄褐				主として粘性土状である。脆弱で指で潰れる。一様に強風化している。		28	4.15	8	8	12	28	300	4.15					
5	-5.00	5.00				黄褐				主として砂質土状である。上部に径20~30mmの硬質な礫片を残す。下部に従い、硬くなる。指圧で潰れる。不均質に強風化している。		42	5.15	12	15	15	42	300	5.15					
6			花崗閃緑岩・砂質土	花崗閃緑岩・砂質土		黄褐						44	6.15	12	13	19	44	300	6.15					
7	-7.00	7.00										94	7.15	25	25	50	160	160	7.15				9/10	
8			花崗閃緑岩・軟岩	花崗閃緑岩・軟岩		黄褐				風化・変質がある軟岩である。下部に従い、徐々に硬くなる。指圧でつぶれる。一様に風化している。		125	8.15	13	7	20	50	120	120	8.15				
9	-9.00	9.00										100	9.05	28	22	50	150	150	9.05				9/11	